

2012年

新春のごあいさつ

日本共産党平塚市議会議員

松本とし子 です



松本とし子のホームページ

<http://www.matsumoto-toshiko.jp>

平塚市寺田縄51-16

電話・Fax 59-4607

災害に強いまちを

今年ほど、新たな年を迎えられたことを心から「ありがたい」と思えたことはなかったのではないのでしょうか。

昨年の東日本大震災では、日頃「当たり前」と思い、改めて考えることもなかった「平凡な日常」のありがたさ、何が必要なのか、何が危険なのか・・・など、多くのことを考えさせられました。このたびの大災害で地震と津波の恐ろしさ、原発事故で受けた被害とわかってきた事実、その教訓を私たちは決して忘れてはならないし、無駄にしてはならないと思います。

いま、いつこのまちに降りかかるかわからない自然災害にどう備えるか、市民の命と財産を守る強い政治力が求められています。

昨年春の一斉地方選挙では、皆様からの温かいご支援をいただき、共産党市議会議員団は2議席から3議席になることができました。

私達3人はみなさんの願い実現のため、安心安全な平塚を目指し、あらゆる方面から学び、しっかりと政策を提案していく所存です。本年も、何卒よろしくお願い申し上げます。

昨年選挙後の6月、9月、12月に行なわれた定例議会において、また、議員団独自で担当部局に要望書を提出し、懇談をする中で「災害への対策」「放射能汚染から市民を守る対策」を提案してきました。

- 消防職員の不足解消を ○相模湾への津波計の設置 ○避難ビルの早期実現 ○相模川河口域の堤防未設置個所の早期着工 ○大雨・津波による河川の氾濫から市民を守る全市的な避難ビル構想を
- 災害時の生徒の安全確保・保護者との連絡方法の見直しを ○民間住宅耐震補強の促進 ○風水害の避難場所「地区公民館」開放を地域主導型に ○放射性物質の検出が各地で顕著になり、学校プール開始時の清掃は生徒にやらせないよう ○放射性物資が高濃度に蓄積しているマイクロスポットから子どもを守る対策 ○学校給

食の食材の放射能測定 ○子ども関連施設への放射線測定器の常備など・・・これからも皆さんの声をお聞かせください。ご一緒に「住みよい平塚」のために働いてまいります。

石巻市へ

救援ボランティアに

皆さんからお寄せいただいた義援金や物資は段ボールに詰めて30数個宅配便で送り、さらに車3台に積んで、7月と10月に石巻市に行ってきました。夏は群がるハエの中、汚泥の片づけを。いたる所に瓦礫の山が積まれました。



中学校給食の実現を

「中学校給食」は、平塚市のお母さんたちの長年の願いです。

中学校給食は全国では当たり前となつていますが、「思春期の大切な時期に、親の愛情を注ぐお弁当は大切・・・」こうした意見も根強くあり、これも納得できる言葉です。

しかしいま、不安定な雇用状況も影響し、子育て中の保護者の働く時間が大変多様化しています。

また、スーパーやコンビニに行けば何でも買える時代になりましたが、その分、日本の食習慣や代々受け継いできた日本の味や食文化が崩れ始め、食育という点からも、改めて見直さないといけない問題が出てきています。将来の大切な体を作る成長期に、子どもたちが安心して学校で食事を摂れることはますます重要になってきています。

全国で実施率ワースト1の大阪府では府が助成をして完全実施することになりました。ワースト2の神奈川県でも、県内ですでに8市8町1村が実施しています。

私達議員団は、中学校給食実現の要望書を提出するとともに議会でも要望し、ようやく検討委員会が発足しアンケート調査が実施されました。

これからも実現に向けて、皆さんとともにさらに頑張ります。

介護保険の見直しでは保険料を上げない方法を

介護保険がスタートして11年。その間介護サービスの総量は増えましたが、見直しの度に保険料は上がり、介護度の軽度化、サービスの削減、介護報酬の削減と改悪が繰り返されてきました。そのため、老々介護、認々介護、介護疲れから悲惨な事件が後を絶たず、大きな社会問題にもなっています。来年度からの平塚市の介護保険について質したのに対し、基金を取り崩して保険料は上げない、特養ホームを片岡に新しく1施設開設する準備をしていることが明らかになりました。

小児医療費は、所得に関係なく誰もが無料に！

来年度から小児医療費が小学6年生まで無料になります。でも所得制限がある家庭には関係のない話・・・子どもが病気になった時の親の不安は言葉には尽くしがたい。入院になるまでには何度も通院をしている家庭もあることを考えると、わずかな収入の違いで医療費が有料の子、無料の子をつくつ

てはなりません。

本来、国が子どもの医療費を保障すべきだと思います。

少子化の中で、各自自治体では「子育て支援」を重点政策として、小児医療費の所得制限をなくしてきています。平塚市でも「所得制限撤廃」の早期実現を望むとともに、まず入院費を無料にすることを求めました。

9月議会会で市長にその予算はいくらかと質問したのに対し「200万円である」と答弁。3年生まで無料だった医療費を6年生まで引き上げるのに1億7千万円かけています。あと200万円！出来ないことではありません。子どもは社会の宝です。

松本敏子プロフィール

新潟県松之山町（現・十日町市）で生まれる。今年年女です。保育園・特別養護老人ホーム・障がい者施設進和学園で働く。管理栄養士、介護支援専門員資格。

趣味

書道、写真、絵画鑑賞、野菜づくりなど。5年前から「うたごえ喫茶」を開催しています。

我が家のアイドル

昨年12月1日、一緒に生活して21年目になるメス猫「エル」が亡くなりました。

いつか来ると思っていたのですが、やはり辛かったです・・・

この年まで病気もなくいたって元気でした。数日前から異様に訴えが多くなり、何をしてもどこかを見ては鳴くばかり。

猫は、亡くなる前には姿を隠すといいますが、今から思えば、これがサインだったのでしょうか。前日には私のいる2階まで上がって



亡くなる前日のエル

きていたのに、それから急に体力が落ち、ヨロヨロと力なく横たわり、私が「エル・・・と呼ぶと、前足を踏ん張って立ちあがるうとするのですが後ろ足はもう立たず、静かに息を引き取りました。最後まで可愛い我が家のアイドルでした。